

日曜議会を開催しました

平日に傍聴に来られない方にも議会の様子を知っていただくため、6月5日に日曜議会を開催しました。

当日は、各議員がおおむね15分以内で、市政の運営や方針などについての質問や政策提案を行い、市の見解を求めました。

带状疱疹ワクチン助成 給水機の設置を要望

小林正樹 (公明党)

①带状疱疹に苦しむ方が多い中、文京区などでは、予防接種の費用補助がある。同様の補助ができないか。
部長 国の動向も踏まえながら、医師会とも意見交換し、調査を始める。

②暮らしを守るため地方創生臨時交付金を活用し施策を早急に進めるべき。(ア)学校給食の負担軽減を。(イ)公共交通事業者への支援は。(ウ)マイナポイントの上乗せや、キャッシュレス決済の事業者支援の検討状況は。
部長 (ア)定例会中に修正予算を調整している。(イ)現在検討している。(ウ)提案や事業者の声を含め、引き続き

③周辺の大部分が、脱炭素社会に向けシェアサイクルを活用し、多くのサイクルポートがある。市でも事業者と協定を結ばないか。
部長 協定を締結した場合、民間事業者からもサイクルポートの協力を得やすくなるか考える。どのように進めたら良いか検討する。

④循環型社会に向けた「マイボトル専用給水スポット」を設置しないか。(ア)学校を含む公共施設への設置を。(イ)市内事業者から給水スポットを募集しないか。
部長 (ア)前向きに検討していきたい。関係各課と調整を進める。(イ)まずは、公共施設への設置に注力する。

一般質問

(4面～6面) 6月5日、7日、8日、9日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。
<二次元コードについて>
スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。
上側: 6月5日(日曜議会) 下側: 6月7日、8日、9日分
(いずれか一方のみを行った議員は、下側に掲載しています)

会派の略称	(自民党・信頼) (みらい)	自由民主党・信頼の小金井 (みらいのこがねい)	(市議会 情報公開)	こがねい市市民会議 情報公開こがねい
(日本共産党) (公明党) (こがねい) (市民カエル)	日本共産党小金井市議団 小金井市議会公明党 小金井をおもしろくする会 市民といっしょにカエル会	(生活者ネット) (元気!小金井) (緑・つながる)	生活者ネットワーク 元気!小金井 緑・つながる小金井	

西岡市長のリーダーシップはどのくらいあるべきか問う

吹春やすたか (自民党・信頼)

(ア)市長の市政運営はうまくいっていないのではないかと。その感想を強く持つ。問題は市長がリーダーとして職員をまとめていくのだから。市長は職員と同じ目標に向かって邁進しているとは見えないが、見解は。(イ)市長は職員と同じ方向性を向いていると答えたが、行政運営を見ていると決してそうとは思えない。これまで市長は条例など様々な提案をしてきたが、一度提出したもの、反対の意見が多いと訂正の上、再度提出するということを繰り返している印象がある。これは提出の際、担当部局との

打ち合わせが出来ていないのではないかと考えてならない。市長は「対話」ということをよく言われるが、職員との「対話」はしっかりとできているのか。
市長 (ア)議員ご指摘のように、市役所という組織の中にあつて、市長の職責上、そのリーダーシップが果たせているかどうかは大切な視点である。至らない点があれば私自身も改善するよう努めてまいりたい。市の歩むべき方向性について同じ思いは職員と共有していると考えている。(イ)議員とはもう少し深く話をさせて欲しいと願っているところである。

ご遺族の方などに もっと優しい市役所へ

宮下 誠 (公明党)

ご家族が亡くなり、市役所で手続をしたご遺族の方から、数多くの窓口を回り、種々の書類を記入しなければならず、不安で大変な思いをした、とのご相談があった。(ア)おくやみガイドブックについて、市内公共施設に各20部程度置いてはどうか。(イ)おくやみ窓口を設置している自治体は、令和元年度では16自治体だったが、令和2年度には169自治体へと急増している。西東京市では、ご遺族がご負担なく市役所での手続を行えるよう、ワンストップで支援する専用窓口を令和4年度に設置するという。

こうした先進市の事例をどう捉えるか。(ウ)おくやみ窓口やおくやみ係を設置し、来庁した市民にとって安心でき、簡素な方法で手続が済ませられるよう工夫しないか。
部長 (ア)要望として受け止める。(イ)先進市の取組として、ワンストップサービスを基本コンセプトに設定し、一元化に取り組んでいる。市民の利便性向上と業務の効率化が見込め、自治体にとっても目指す方向である。(ウ)他市で実施しているおくやみ窓口等はご遺族の方に対して負担軽減、分かりやすさを目指したもので、市民の方のご要望を前向きに捉え、研究していく。

武蔵小金井駅北口の街づくり／ひきこもりの現状

五十嵐京子 (自民党・信頼)

①武蔵小金井駅北口は大型商店が閉店をして5年。この間協議中とは聞いていますが、昨年度には北側の駐車場も閉鎖された。北口利用の市民には待望の事業であるが、進捗状況は。
部長 以前の計画より範囲が狭くなったので、自動車線等や公開空地の整理、地域貢献の内容等を検討し直している。

②特に19才以上のひきこもりの現状と課題について。(ア)相談数は。(イ)現在の対応は。(ウ)問題解決の方法は。また東京都の動きは。
部長 (ア)年間20件を超える相談がある。(イ)丁寧な相

談を重ね、関係機関や家族会と連携している。(ウ)なるべく早く適切な医療機関につなぐなど、必要に応じてアウトリーチを行い、支援機関と連携している。令和3年に市区町村を対象に第1回ひきこもりに係る支援会議を開催した。

③図書館本館の今後について。令和4・8年度の図書館基本計画には、貫井北分室以外の施設の収蔵能力は既に限界を超えているとある。どのように問題解決する考えか。
部長 どのような方策がとれるか、引き続き検討していきたい。
市長 建て替えの方針等は今後の課題である。

デジタル技術の活用で地域経済の振興を進めよう

村山ひでき (みらい)

キャッシュレス決済やポイント還元などに対応可能な商店や事業所を増やすべき。今定例会で二次元コードの電子版地域振興券が提案された。(ア)都の商店街デジタル化推進事業補助金の残り10分の1を市で補填する上乗せ補助を行わないか。(イ)さくらポイント事業の課題は。デジタル化を援助すべきでは。(ウ)市内の金融機関と連携しデジタル地域通貨の研究を。(エ)商工会による小金井市買物困難者支援モデル事業とは。取り入れられるものは反映を。(オ)商工会や商店会連合会と定期的な意見交換の場を持つべ

きた。
部長 (ア)現時点では具体的な事業内容の確認が取れていないため判断できない。(イ)加盟店はピーク時の約半分の78店まで減少しており、時代に即した事業形態への転換が課題である。(ウ)デジタル化によるコスト軽減により導入の制約が軽減した。今後、地域の事業者と共に研究していきたい。(エ)実証事業としてカタログ販売(注文宅配、移動・訪問販売)、交流イベント(道草市との連携、お店ツアー)、代理注文アプリの3事業を実施した。(オ)様々な立場の市民が集う意見交換の場を定期的に設けるべく、具体化に向け協議中である。

小学校指定校変更の弾力的運用2年目の効果

沖浦あつし (みらい)

第三小学校大規模化対応と当該学区からより近い小学校に通わせたい声から提案した学区の調整につき、実施2年目の効果を確認する。(ア)本制度により関連小学校のクラス数はどう変動したか。(イ)実施2年目の効果は。(ウ)喫緊の課題に対応した「弾力的運用」は、2年連続で効果があり、保護者ニーズの掘り起こしもできている。令和8年度に児童数がピークとなるが、一定の時間を要する「学区の見直し」が未だ検討途上であれば、本制度を続けるべきと考えるが見解は。
部長 (ア)第三小学校から

30人が隣接校に指定校変更(13人が第一小学校へ、2人が東小学校へ、15人が緑小学校へ)した結果、弾力的運用を行わなかった場合と比較して、第三小学校は1クラス減の5クラスとなり、指定校変更先の全小学校においてクラス数に変動はなかった。(イ)全体的に1クラス減となり、効果があった。(ウ)次年度入学予定の児童数の関係で保護者アンケートの準備はしているものの、現時点で3年目の実施の決定はしていないが、有効な手段と認識している。その他、「CO2濃度を指標とする適切な換気で、学校の学習環境向上と省エネ」の取組を提案しました。